

令和3年度 KOBE学生地域貢献スクラム 下期 プロジェクト一覧

No.	プロジェクト名	プロジェクト団体名	活動内容	活動期間	活動人数 (想定)
1	里山の整備と環境体験学習	山田の里グリーンクラブ	里山の整備と環境体験学習のサポート・指導。	10月中旬～12月中旬	5～10名
2	プレイスメイキング 防災空地を人が集える 空間にリノベーション	兵庫区北西部まちづくり協議会・合同会社ハツダ商店	コロナにより人の密度が高くなる室内での活動は制限されつつある。そういった状況の中、屋外での活動「ソトアソビ」に価値が生まれつつある。「ソトアソビ」は、人々の居場所であったり、楽しくアクティビティが生まれる空間だったりする。そういった空間（空地など）を作り、楽しく豊かに使いこなし、都市を豊かにするムーブメントを起こす。 その一環として、街中にある「管理されていない空き地」をコミュニティの生まれる場となるように、段差を活用したベンチをDIYで整備する。	10月下旬～11月上旬	5名
3	山をまるごと遊ぼう 「このゆびとまれ」プロジェクト	天王町竹林保全活動組織	森林整備活動を行う中で、オンライン授業にはない現場のものづくりの体験、防災知識の向上、子供たちや他の学生、親子、発達障害の方など多様な世代との交流によって楽しさや生きがいを見出す活動をしてもらう。	10月下旬～3月中旬	10名～20名
4	竹林整備してテントサ ウナで汗を流す	Neighbor's TentSauna 実行委員会	「078KOBE」の「withコロナ助成企画」として立ち上がり、神戸市やパートナー企業からの協賛を頂いてイベント運営をしている。 大沢町の地域拠点施設として計画中の民泊施設の周辺に侵食してきている竹林を整備（伐採）して住環境の改善を目指す。伐採した竹を使用したテントサウナで汗を流すなど、楽しみながら地域貢献活動をしてもらう。	全5回を予定（スケジュールは応募者と相談して決定）	3名～10名
5	スマホ教室並びデジタル 教室	松尾ふれあいのまちづくり協議会	高齢者がスマホを持つ割合が増加しているが、実際使いこなしている人は少なく、学ぶ場もあまり無い。学ぶ場があったとしても予約制であったり、授業料が高くカリキュラムをこなせば良いという教室が多いのが実情。そのため本活動では高齢者の皆さんにスマホの使い方をマンツーマンで指導してもらい、高齢者の皆さんが分かるまで丁寧に指導してもらう。	10月下旬～2月下旬	3名
6	子どもの「とりで」つくも	森の学校「つくも」	赤ちゃんからお年寄りまで全ての人が集えて、活動して癒される場所づくり、ユートピアづくりを目指すために、竹の伐採、小屋づくり、畑づくりを行ってもらう。	11月初旬～3月中旬	3名～10名
7	花谷スマホ応援隊	花谷ふれあいのまちづくり協議会	エリア内の主に高齢者を対象として、普及しているスマホをもっと便利に活用できるように、高齢者の皆さん個別に親切丁寧に指導してもらう。	11月初旬～3月初旬	5名
8	休耕田を再利用した有機 農業の推進（留学生特別 ※日本人学生も参加可能）	NPO法人ピースアンド ネイチャー	地域の方々のご協力のもと、メンバーと共に放置竹林問題によって荒れた休耕田を耕し、田んぼとして再利用している。また整備した竹は竹炭を製造し農業資材として活用し有機農業を実施している。	10月初旬～11月下旬	3名～10名
9	病気の子どもたちとその 家族を支援する	ドナルド・マクドナルド・ ハウス神戸	兵庫県立こども病院に入院されている子どもたちとその家族を生活面でサポートしてもらう。	11月上旬～3月下旬	1名～5名
10	「Discover & Feel」 まち歩きプロジェクト	ためま株式会社	神戸市内のイベント情報や店舗情報、観光名所・穴場等を新たに発掘してもらい、Webアプリ「ためまっぷ」を用いてレポート(写真、交通アクセス、見所、歴史等)を作成してもらう。	11月上旬～11月中旬	5～10名
11	すいすい☆とんで！は ずんで！（仮）	神戸市立愛垂児童館	発達がゆっくりな子どもたちが親子でトランポリン、サーキットあそび、親子体操などを通して子どもの発達過程の成長、育成を図る活動のサポートをしてもらう。	11月初旬～12月初旬	5～8名
12	神戸学生フードエイド (仮称)	BE KOBEミライPROJECT	コロナ禍により様々な事情（※現状の課題に記載）で困窮する大学生に学業を継続していただくための緊急対策としてサポート支援に取り組み下記の活動を行う。 ・大学生の食を応援「神戸学生フードエイド（仮称）」 アルバイトの減少や実家の援助に頼れないなどの事情を抱え、お困りの大学生やそのほか下宿生などを対象に約1週間分の食品セットを無償配布する。食品の提供を通して困窮している学生を支援するとともに、社会からの大学生に対する応援の気持ちを届ける活動をしてもらう。 ・同世代の学生同士によるトークセッション空間の設置 テーマを決めたセッションのほか、何気ない会話からのコミュニケーション、また悩み相談などを市内大学のボランティアセンターや市内企業の社会人と連携し交流窓口を設置する。学生スクラムで参加している大学生、神戸学生フードエイド（仮称）を利用している大学生、BEKOBEミライPROJECTに賛同している企業や市内の社会人が神戸学生フードエイド（仮称）事業を通じ、食品の無償授受だけでなく大学を超えた新たな人間関係、社会的関係といったネットワークの形成を目指す。	10月中旬～1月中旬	15名
13	居場所や地域活動を体験 してみよう～高齢者 向けスマホ講師、子 ども食堂、セミナー運 営～	認定NPO法人コミュニ ティ・サポートセン ター神戸	1) こども食堂「もりのこみち」や地域の方が集うサロン「哲学カフェ」の運営補助をしてもらい、議論にも参加してもらう。 2) 高齢者向けスマホ講座で、マンツーマンで寄り添って教えてもらう。また、地域の方が集うサロン「ソロ活サロン」（「誰しも最後は一人」をテーマに開催）の運営補助お願いいたします。 3) 自治会・地域活動団体向けセミナー・交流会の運営補助をしてもらう。	10月下旬～12月中旬	1～2名
14	地域の助け合いの輪を 広げようプロジェクト	特定非営利活動法人 リーフグリーン	ゴミ出しや居場所づくりを体験し、地域での助け合いについて広報活動を行ってもらう。 学生目線で地域社会の課題を洗い出すことで、新しい課題の発見や効果的な支援の仕組みが構築される可能性を期待している。	10月下旬～12月下旬	5名
15	KOBEランタン縁日2021 ～世界をむすぶKOBE夜 あかり～	特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援セ ンター(KFC)	「地場産業の衰退や高齢化、コロナ禍により苦境にある長田区再開発地域及び周辺地域において、地域の多様性を活かす特色あるまちづくりの手法として世界中に成功事例がある「ランタン」を切り口に人々の縁を作る「KOBEランタン縁日」を行い、地域の活性化を図る。 ランタン縁日の実施に向けて絵付け作業や縁日当日の設置、運営、撤去に関わってもらう学生を募集する。 <10月のランタン縁日の内容> 場所：ふたば学舎内外と隣接スペース、大正筋商店街(入口アーケード、KICC予定地前) ランタン縁日の日程：2021年10月15日(金)15:00～20:30、10月16日(土)15:00～20:30 1. ランタン装飾 ランタンでふたば学舎内部・外部・隣接する公園前エリアと大正筋商店街内(入口アーケード、KICC前)のライトアップ装飾を行う。ランタン表面には地域在住の外国人住民や子どもたちがそれぞれの感性でデコレーションを施す。 2. 親子縁日 ふたば学舎2-A室にて親子縁日を行う。内容は、ステージパフォーマンス(マジック、チンドン)やブース(スーパーボールすくい、世界の遊び体験、笑い文字など)を予定している。	10月中旬	各5～10名
16	地域の子供たちとの公 園遊び	NPO法人パラフル	忙しい日々を送るママさんに自分の時間を作ってもらう為に、公演で地域の子供たちと同じ目線で一緒に遊んでもらう。	10月下旬～2月下旬	7名
17	学童の冬休みをデザイ ンする	株式会社078	学童保育の冬休みを1日プロデュースしてもらう。こども達と一緒にやってみたくいこと、皆さんの得意なことをプログラムにして計画、実践してもらう。10人弱の小規模学童保育なので子ども達一人一人の顔を見て活動できる。子ども達が安全に、安心して、活動に参加できるものであればジャンルは問わない。どこかへ出かけるもよし、実験・工作もよし、自分の得意なスポーツ、芸術を披露するもよし、子ども達が興味を持って話を聞いたり、体験したりできるプログラムを考えて、実行してもらう。学生一人につき1つプログラムを計画してもらう。その他の活動日は他のメンバーが計画したプログラムのスタッフとして記録や補助を行ってもらう。事前準備で2日間、現地に来て、見て、実際の子ども達と会って、プログラムを考えてもらう。活動内容の相談には応じるので、安心して参加してほしい。	11月下旬～12月下旬	4名
18	放課後の子どもの居場 所「こどもリビング」 でスタッフをしません か	認定NPO法人コミュニ ティ・サポートセン ター神戸	地域共生拠点・あすパークで開催する放課後の子どもの居場所「こどもリビング」で、子どもたちの宿題サポートや、毎回テーマを決めて行うディスカッション「Qコーナー」での出題など、子どもたちが充実した時間を過ごすためのサポートをしてもらう。	2月上旬～3月中旬	1～4名